

泌尿器科

1. 診療科の概要

泌尿器科の特色は、腫瘍学、下部尿路通過障害等に加えて、関連する内分泌的疾患や不妊症、性機能、尿路感染症などの領域がバランス良く配置されており、局所治療から全身管理まで多岐に渡る点にある。また参加できる手術のレパートリーは、腹腔鏡手術をはじめとして、大小の開放性手術、前立腺肥大症等に対する経尿道的内視鏡手術、男子不妊症に対する顕微鏡下手術等、多岐にわたる。また、平成 25 年度から手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」が導入され、ロボット支援腹腔鏡手術が可能となり、最新の治療に触れることができる。

2. 臨床研修指導医

指導責任者（科長）：舛森 直哉

指導医：田中 俊明、小林 皇、橋本 浩平、西田 幸代、京田 有樹、進藤 哲哉、前鼻 健志

3. 研修担当者

氏名：前鼻 健志

連絡先：uroikai@sapmed.ac.jp

4. 研修初日の集合時刻と集合場所

集合時刻：9 時 00 分

集合場所：臨床教育研究棟 9 階 泌尿器科学講座教室

5. 到達目標

- ・ 外来または病棟において、下記の症候を呈する患者について、病歴、身体所見、簡単な検査所見に基づく臨床推論と、病態を考慮した初期対応ができる。
< 発熱、腰・背部痛、排尿障害（尿失禁・排尿困難）、終末期の症候 >
- ・ 外来または病棟において、下記の疾病・病態を有する患者の診療にあたることができる。
< 腎盂腎炎、尿路結石、腎不全 >

6. 研修内容

(1) 回診とカンファレンス

- ・ 総回診を週 1 回行う。
- ・ 入院・外来と手術症例カンファレンスを週 3 回行い、問題症例や今後予定している手術症例について検討する。放射線科医による読影や、必要に応じて他科担当医によるプレゼンテーションも併せて行い、各科との協力体制をとっている。
- ・ 年 5～6 回病棟カンファレンスを開催し、医師と看護師間で疾患に対する共通認識を持てるよう、知識のアップデートを行っている。

(2) 研究会

- ・ 週1回持ち回りで抄読会を開催する。また、urology seminar と題し不定期に内外の講師を招いて講演会を行い、関連分野での最新の知見を得る。日本泌尿器科学会及びその地方会にも積極的に参加する。

7. 研修医の主な業務

- ・ チームに属し、病棟回診を行う。周術期の管理、泌尿器科疾患全般のマネージメントを学ぶ。
- ・ 手術、検査助手を行い、泌尿科疾患の手術療法、検査の手技を学ぶ。
- ・ 外来診療の間診を担当し、泌尿器科疾患の外来初期対応を学ぶ。

8. 研修スケジュール

	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
月			外来、検査、病棟業務				総回診	カンファレンス	抄読会				
火			手術、検査、外来、病棟業務										
水			手術、検査、外来、病棟業務						画像読影 カンファレンス				
木			手術、検査、外来、病棟業務										
金			外来、検査、病棟業務				手術説明 外来	カンファレンス					

9. 初期臨床研修時の症例を活用できる専門医資格
なし

10. 研修協力施設

- ・ たすきがけ研修病院（協力型臨床研修病院）
NTT 東日本札幌病院、JCHO 北海道病院、砂川市立病院、滝川市立病院、済生会小樽病院、
倶知安厚生病院、市立室蘭総合病院、製鉄記念室蘭病院、王子総合病院、函館五稜郭病院、
北海道立江差病院、旭川赤十字病院、帯広協会病院、釧路赤十字病院
- ・ 短期研修可能な施設（臨床研修協力施設）
北海道医療センター